



自衛隊栃木地方協力本部

第43回芳賀町民祭で自衛隊広報展を開催 ～地域住民の安全や防災意識の向上を促進するきっかけに～



募集ブースと販売ブース（家族会主催）の様子

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 古川3陸佐）は、11月9日（土）、栃木県芳賀町役場で開催された『第43回芳賀町民祭』で自衛隊広報ブースを出展した。

芳賀町民祭は、地域住民にとって最も身近な自治体である役場敷地内で開催されたこともあり、幅広い世代の地域住民が早朝から来場し、大変賑わった。また、同会場では自衛隊、警察、消防、JRバス等の車両が一堂に集まり、日常の安全や防災に対する意識向上や生活に密着した公共機関への理解を深めてもらう体験型の展示となった。

自衛隊広報ブースでは、1/2トトラック展示、階級章展示、射的コーナーのほか自衛隊家族会主催による自衛隊グッズ販売を行った。車両展示では、「1/2トトラックのボンネット内のエンジンルームも見てみたい!」という来場者の要望に応え、自衛官が点検方法も含め丁寧に説明をした。中帽をかぶって車両に乗り込んだ男の子からは、「トラックに乗るときは必ずヘルメット（中帽）をかぶらなければいけないのですか?」等の質問があり、車両乗務時の自衛隊の規則等についてわかりやすく回答する場面もあった。募集ブースでは、前年の職場体験学習で自衛隊に参加した生徒が立ち寄ってくれるなど、思わぬ再開に喜ぶ場面も見られた。

真岡募集案内所長は、「警察、消防、自衛隊車両の展示は地域住民の安全や防災意識の向上を促進する貴重な機会に繋がる。今後も、それぞれの職業がどのような形の役割で社会貢献しているかを分かりやすく学ぶ機会を提供し、特に若い世代に対して将来の進路選択の参考になることを目指して取り組んでいく」としている。



車両等が一堂に展示&自衛隊車両展示の様子



車両展示：エンジンルームも見せちゃいます♪



体験試乗：中帽は必ずかぶって運転！

